

西多摩医師会報

創刊 昭和47年7月

第318号 平成11年6月



松原貞一

目 次

	頁		頁
1. 平成11年度第1回定時総会開催		6. 地区だより	
広報部 … 2		日の出・五日市地区	
2. 西多摩医師会主催学術講演会に		清水佐和道 … 18	
関するアンケート調査結果 学術部 … 4		7. 文芸随筆諸事百般	
3. 理事会報告 広報部 … 7		短 歌 鹿野純一 … 19	
4. 会員通知・医師会の動き 事務局 … 12		8. お知らせ・訃報 事務局 … 20	
5. 各部だより		9. 伝言板 広報部 … 21	
学術インフォメーション 学術部 … 15		10. 表紙のことば 松原貞一 … 21	
青梅市立総合病院外来診察分担表		11. あとがき … 21	
広報部 … 17			

平成11年度 第1回定時総会開催

平成11年度第1回定時総会は、平成11年5月28日(金)午後7時30分より西多摩医師会館に於いて、玉木総務部長の司会により下記次第で開催された。

1. 開会宣言……総会議事規則第3条により宮川会長が宣言す。
1. 議長指名……同3条第2項により宮川会長が川崎健一郎会員を選任し指名す。
1. 議長登壇
1. 資格審査……川崎議長が会員総数404名会員総数の過半数(203名以上)で成立した旨報告す。
1. 物故会員に対する黙禱……平成11年3月31日近藤友好先生に対して黙禱を行った。
1. 開会挨拶……宮川会長
1. 議事録署名人指名……議長が樋口昭夫会員、細谷純一郎会員を指名す。
1. 議題
1. 報告事項
平成10年度各部事業報告書 — 承認 —
○村山正昭会員より、第14回西多摩学校保健連絡協議会のテーマ選定について質問があり、星野理事が経緯を説明した。
1. 審議事項
第1号議案 平成10年度収支計算につき承認を求める件
第2号議案 平成10年度預り金につき承認を求める件
第3号議案 平成10年度西多摩医師会互助会収支計算につき承認を求める件
○第1号～第3号議案につき、小机経理部長より説明がなされ、足立卓三監事より監査報告が行われた。
○3議案とも原案通り承認された。
— 以上で議事終了 —
1. 閉会宣言……総会議事規則第3条により宮川会長が宣言す。
1. 閉会挨拶……真鍋副会長が行なった。
1. 議長団降壇



西多摩医師会主催学術講演会に 関するアンケート調査結果

西多摩医師会主催学術講演会に関するアンケート調査を行ったところ、多数の会員の先生方から回答を賜りました。ご協力ありがとうございました。

今後の活動に生かして行きたいと思います。

平成11年5月

発送：390通

回収：165通（内無回答6）

1) 会場

医師会館で良い	86
ホテル等他の会場が良い	62
どちらでも良い	11

2) 日時：現在午後7時30分より行っていますが

早すぎる	10
丁度良い	106
遅すぎる	42
夜の講演は参加できない	1

3) 土曜日午後の開催

可	40
否（平日が良い）	119

4) 軽食の準備

必要	78
不必要	71
どちらでも良い	10

5) 頻度：現在平均2回/月 開催

多すぎる	64
丁度良い	95
少なすぎる	0

1) ☆車のアプローチの良いところ

☆車以外の便が悪いので医師会館以外

☆なるべく羽村、福生方面でも

☆外部講師の場合は他で（例、青梅市立総合病院講演）

☆Dr. 同志のコミュニケーションの場として、病診連携・診々連携のため、OBは講演会終了後、講師との懇談を楽しみにしているので出来れば懇親会があったほうが良い。

（ホテルが良い）

☆病院の講堂を利用させてもらったら

☆取り混ぜて

☆西多摩の中心あたり、行きやすいところ

☆駐車場の広い公共会館

2) ☆6：30～ 3人 7：00～ 3人 8：00～ 1人

☆夜は意欲が落ちる。休日前夜が良い

3) ☆できれば土曜のほうが良い

☆2ヶ月に1回ぐらいなら

☆診療があるDr. が多いのであまり来ないでしょう

- ☆病院関係の出席者は減る
- 4) ☆あればうれしい
 - ☆ドリンクで可
 - ☆和やかな雰囲気作り必要
 - ☆時間帯により
- 5) ☆1回/1ヶ月 14
 - ☆1回/2ヶ月 2
- 6) ☆忙しくてほとんど出席できません
 - ☆御苦労さまです
 - ☆学問的な内容より、実施のプライマリケアに促した具体的なレクチャーをお願いします
 - ☆昼間の診療で疲れきった先生方が夜間に出かけて勉強することは大変な努力が必要と思われます。学部担当となれば、頻回に学術講演会を開催することが実績になると考え勝ちですが、果たしてそうでしょうか？余り張り切らない方が良いのではないのでしょうか。殆どの開業医は、診療が終われば後はゆっくりと自分自身の時を過ごしたいと思っているのではないのでしょうか。大変申し訳ありませんが、高齢のためや夜間に参加する意欲がなくなりました。学術のことについては何れゆっくりと私の考え方を発表したいと思っています。医師会が学術団体というのはあくまでもたてまえた私は理解しています。
 - ☆講演会参加者が少ないのは、結局医師会全体の活動が低調であることの一部にすぎません。会員一般の声に耳を傾けず、理事者が会員の声を封ずる様な姿勢を示している限り、何をどう変更（講演会の時間・場所等）しても、会員は集まりません。会報は理事者のお声御通達報となり、一般会員は誰も投稿しなくなったでしょう。意見を聞いてくれる人がいなければ誰も言わなくなるし、人の話しも聞きたくないものです。
 - ☆年齢的に夜は遅くなりたくないで、学術講演会も出席しておりません。発言する権利はないと考えております。ご返事はさしひかえさせていただきます。
 - ☆学会雑誌、医師会雑誌等勉強しようと思えばいくらでも資料があります。講演会が必要か否かまず考えることが必要ではないのでしょうか。
 - ☆土日の開催があれば是非出席したいと考えています。平日は仕事が忙しくて出席不能ことが多いため。
 - ☆専門の医業に関係ない分野もたまにはしていただきたい。（例：2000年コンピューター問題・災害救急医療・麻薬問題（ドラッグ etc）について・砂糖の弊害について）
 - ☆自分の興味ある時にしか行こうと思わないのが、参加者不足の原因でしょう。
 - ☆診療機会の多い疾病の講演
 - ☆交通の便の良いところでの会場を望む
 - ☆各科共通の話題を
 - ☆講師の先生の都合もあるのはわかるのですが、同じ週に2回とかが多すぎるように思います。
 - ☆内科疾患以外の良くある疾患の講演がもっとあっても良いように思います
 - ☆頻度：平均2回/月でよいが多い月と少ない月とがあり、毎月2回が良いと思う。
会場：ミックスが良いと思う。
 - ☆ご苦労が多いと思いますががんばって下さい
 - ☆交通に便利な病院会議室でもテーマによっては可能ではないでしょうか

- ☆1年の回数を12回とする。会員の希望する演題をアンケート調査し、その順位の上位6回を自由演題とし、他の6回は2～3回位ずつシリーズとしたらどうか。
- ☆午後1時半から1時間位の開催は如何ですか
- ☆ホテルでなくても良いが、車、電車でのアクセスのよいところが良い
- ☆交通の便利が良いこと、西多摩は広いから。医師会報の学術部の抄録が便利になる（特に略語）頻回のアンケートがほしい、新しい疑問が湧く。臨床上实际的なテーマを希望。
- ☆総合病院は、各医師に案内を頂くより各科でまとめていただいた方がわかりやすいし、ハガキ代も無駄にならないと思います。
- ☆案内状内容を、Dr. が興味を持つよう一言書くと印象が違うのでは？演題の吟味－循環器・消化器はよく集まります。演者（講師）の吟味（近隣、特に地域内のDr. は余り魅力がないようです。会長、副会長初め理事達の出席を願う。特に会長出席の折りには、御礼の言葉を話された方が良いかもしれません。
- ☆講演内容を抄録の形でなく、会報に掲載してほしい。
- ☆各科にわたるので内容の選択は難しいと思います。法令、医療制度に関しても含めてはどうでしょうか。（私は入会したばかりなので、以前の内容はわかりません）
- ☆会場を秋川、羽村、福生と医師会館と交互にしては如何でしょうか。
- ☆医局に回覧板が回ってくるのが講演会の2～3週間前なので予定が立っている場合が多く困る。せめて1ヶ月から1.5ヶ月前に。
- ☆内科系の内容に偏ることなく、広く内容を設定したら如何でしょうか？内科系が特に多いように思いますが。
- ☆内科、外科系だけでなく、もう少し他科も取り入れてはどうだろうか。集まりが少ないのは、医師会館でやるので福生、羽村地区の人の出が悪くなるように思う。
- ☆開業医に役に立つ、プラクティカルな内容が良い。
- ☆実用的な内容のものをお願いしたい（レントゲンや心電図の読み方など）
- ☆西多摩のどこからもアクセスの良い場所が良いと思います。無料の駐車場のあるところ。
- ☆医療関係の勉強も良いが、他の文化的講演もあると面白いのでは
- ☆講演会後の懇親会を楽しみにしてくる会員もいるので御一考を！
- ☆保健医療、医療行政にかかわったテーマ（介護、救急、費削減 etc）も取り入れては如何か
- ☆だいたい日程が分かりましたら知らせて下さい
- ☆よく努力され、会員の為になっていると思われれます。
- ☆現在の医師会館は不便（遠い、汚い、みすぼらしい、不便、道が狭い、駐車場、西多摩の中心になくて不公平）
- ☆時には政治的なこと、日本の将来などの他分野の人の話しも良いと思う。
- ☆交通の便の良いところ
- ☆講演のテーマが偏っている
- ☆自分の専門（精神科）には出たい
- ☆内科に関する講演会がほとんどで、例えば小児科に関する講演会はほとんどないのが不満です。
- ☆講演の時間は1時間以下として（すべてを含めて）PM8時位からの開催でも良い気がします。
- ☆ビデオにとっての貸し出しは如何

理事会報告

★ Information

5月定例理事会

平成11年5月10日

西多摩医師会館

【1】 報告事項

(I) 各部報告

(担当部長)

(経理部) 経理部会及び会計監査会報告。

4月26日、経理部会を行い収支計算等検討・確認。

4月30日、監査会、総会資料につき精査を行った。

(病院部) 病院委員会報告。

4月15日、福生幸楽園にて開催。

救急医療、介護問題等につき自由討論を行った。今後各施設がより協力関係を維持できるよう務めたい。

救急医療について；

(1) 慢性療養施設との連携を現状より強固にしてゆかないと応需ベットの確保が難しい。

(2) 救急施設における当直医師の専門別分布が分かるようなネットワークが組めれば患者の搬送はより速やかになる。

介護施設について；

来年度の介護保険制度実施に向け、地域施設の応需体制を早急に点検整備する必要がある。

以上について理事会の意見も参考にし、次回はさらに具体的に討議し、対策の知恵を出し合うこととした。

現実には各施設の公私、規模の違いなどを考慮しながら進めることが協力関係を維持するために重要ではないかと考える。

(学校医) 学校医委員会委員に田原邦朗先生を委嘱する。(内田萬次先生退会による)

(産業医) 本会主催産業医研修会7月17日(土)青梅市立総合病院講堂にて開催予定。

(II) 各地区会よりの報告

(各地区長)

(青梅) 5月11日 地区会開催。介護保険審査会、在宅医療について。

(福生) 5月14日 総会予定。

(羽村) 5月14日 介護保険担当と話し合いの予定。

(あきる野) 5月17日 例会予定。

(瑞穂) なし。

(日の出) 4月10・11日に春の旅行会を開催した。

(III) その他

○西多摩地区介護保険協議会報告

5月7日開催、認定委員会の執務料などについて。

【2】 報告承認事項

- (I) 入会会員について — 承認 —
- (II) 秋川保健所運営協議会委員の推薦について — 承認 —
小机クリニック 小机 敏昭 先生
- (III) 東京都学校医会評議員の選出について — 承認 —
星野小児科内科クリニック 星野 誠 先生
(前学校医担当理事 村山 正昭 先生 任期満了)
- (IV) 医師会会費減免について — 承認 —
塩 沢 医 院 塩 沢 三 朗 先生 (T11.11.11生)
本会会費 (平成11年2期より) を減額する
※定款施行規則第11条 抜粋
会員が満77才に達した者、または特別の事情のある者の会費は理事会の議を経て減額することができる。
- (V) 桧原地区長変更について — 承認 —
桧原診療所 田原 邦朗 先生
(前地区長 内田 萬次 先生退会による変更)

【3】 協議事項

- (I) 平成10年度事業報告 (案) 及び収支計算書 (案) 承認について — 承認 —
- (II) 平成10年度西多摩地域産業保健センター精算報告及び平成11年度西多摩地域産業保健センター委託事業実施計画書 (案) 承認について — 承認 —
- (III) 平成11年度第1回定時総会資料一式及び総会次第について — 承認 —
- (IV) 医療機能連携推進事業について (坂本理事)
4月26日、立川市医師会にて東京都及び都医師会担当理事より説明を受けた。
- (V) 福生市医師会訪問介護ステーションの設立について (玉木理事)
地区会にて設立希望がある。今後協議を行っていく。
- (VI) その他 (横田理事)
学術部と地域医療部で介護保険についてのシンポジウムの開催を考えている。
形式・対象・内容等につき、協議願いたい。

5月定例理事会

平成11年5月25日

西多摩医師会館

【1】 報告事項

(I) 都医地区医師会長協議会報告

(宮川会長)

1. 都医からの伝達

★ (1) 都医役員選挙結果について

4名の新理事が選出された。

(2) 感染症新法に関する諸事項について(都医雑誌6月号の別冊を参考に!)

- ① 感染症新法に基づく医師から都道府県知事への届出のための基準について
- ② 感染症による医療法の一部改正について
- ③ 感染症の病原体を保有していないことの確認方法について
- ④ 1類、2類、3類感染症の消毒・滅菌に関する手引きについて
- ⑤ 学校において予防すべき伝染病の解説について

★ (3) 難病対策に関する諸事項について

- ① 東京都在宅人工呼吸器使用難病患者訪問看護事業の実施について
- ② 医療機器貸与及び訪問看護事業の実施について
- ③ 東京都在宅難病患者人工呼吸器整備補助金交付要綱の廃止について
- ④ 難病患者等ホームヘルプサービス事業の実施について
- ⑤ 難病患者等日常生活用具給付事業の実施について

★ (4) 血清ペプシノーゲン法による胃がん検診及びマンモグラフィによる乳がん検診補助事業の実施について

東京都では、胃がん検診の充実をはかるためペプシノーゲン法を導入する。又、マンモグラフィの補助事業も実施する。

(5) 各種学校医大会について

- ① 関東甲信越静学校医協議会 (茨城県)
H11. 8.27 水戸プラザホテル
- ② 全国学校保健・学校医大会 (岐阜県)
H11.11.20 長良川国際会議場

★ (6) 平成11年度国民健康保険医療費通知について

H11. 5月分をH11. 8より9月までに
H11. 9月診療分をH11. 12よりH12. 1月までに通知する。

★ (7) 特別管理産業廃棄物処理実績報告書の提出について

H11. 6.30までに報告する。

- ★ (8) 日本医師会認定産業医制度における研修会の指定について
西多摩医師会では、7月17日(土)PM1時より6時まで、青梅市立総合病院にて開催する。

- ★ (9) 老人保健施設設置状況について
65施設。

- ★ (10) 介護保険サービス提供事業者(医療機関)説明会開催について
各医療機関はサービス提供事業者とみなされている(みなし指定)ので説明会に出席するように。

- (11) 介護保険制度に関するアンケート調査報告について
東京都医師会は西多摩医師会より調査報告が発表された。

- (12) 平成10年度東京都高齢者介護サービス体制整備検討委員会報告について
報告書を参考とするように。

- ★ (13) 訪問看護ステーションの特例として従たる事務所(サテライト)の設置促進について
地区医師会が看護ステーションを設置するように特例として認めたものである。

- (14) 東京都老人訪問看護ステーション施設整備費及び設備整備費補助金交付申請の協議について
H11. 6.30までである。

- ★ (15) 老人訪問看護ステーション設置状況について
271施設。

- (16) 日本医師会雑誌を利用した生涯教育単位取得(試行)について

- ★ (17) 社会保険の適用に関する周知について

- ★ (18) 東京都医師会共済部会新規部会員加入促進について
未加入者は是非加入してもらいたい。

- ★ (19) 診療所労務管理の手引きについて
社会保険の適用に関する周知について(労務管理の手引を各医療機関に送付する。)

2. 協議事項

なし。

3. 地区医師会からの報告

- (1) 「医療連携機能、かかりつけ医機能、訪問診療医紹介の手引き」について (武蔵野市医師会)
- (2) 田園調布医師会ホームページ開設について (田園調布医師会)
- (3) ツベルクリン検査・BCG接種マニュアルについて (港区医師会)
- (4) 医療機関における標榜できる診療科名の整備について (日本橋医師会)
- (5) 江戸川区医師会医療検査センターについて (江戸川区医師会)

4. その他

- (1) 介護保険ニュースについて
- (2) 行事予定について

(II) 各部報告 (担当部長)

- (総務部) 西多摩三師会総会報告。5月19日、開催された。
- (学術部) 学術講演会アンケート報告。(別掲)

(III) 各地区会よりの報告 (各地区長)

- (青 梅) 5月11日、役員会。介護保険認定審査会の件について。
- (福 生) 福生市医師会訪問看護ステーション設立の為の小委員会設置を検討している。
- (羽 村) 5月14日、介護保険担当者と話し合い。
- (あきる野) 5月17日、総会。介護保険審査会のメンバーなどについて。
- (瑞 穂) 特になし。
- (日の出) 特になし。

【2】 報告承認事項

(I) 入会会員について — 承認 —

(II) 平成11年度多摩医学会役員推薦について — 承認 —

- 宮 川 栄 次 先生 (大聖病院)
- 坂 本 保 己 先生 (青梅市立総合病院)
- 塩 澤 三 朗 先生 (塩澤医院)
- 馬 場 真 澄 先生 (公立阿伎留病院)
- 柴 崎 昌 浩 先生 (福生病院)
- 大河原 周 先生 (大河原森本医院)

【3】 協議事項

(I) 新会員 (A) との懇親会日程について

(II) 介護保険に関するシンポジウムの開催について

今後、地域医療部と学術部で進めて行く。

会員通知

- 学術アンケート
- 11年1期諸会費納入について
- 「11年度都医会主催日医会生涯教育講座」における講師の変更について
- 第2回東京都介護支援専門員実務研修受験試験「受験の手引」の送付について
- 平成11年度西多摩三師会総会及び介護保険勉強会
- 一般医療機関のためのHIV/AIDS診療マニュアル
- 医療機関用子どもの虐待防止マニュアル
- 「医薬品等安全性情報報告制度」へのご協力について
- 計報
- 西多摩医師会主催「日医認定産業医研修会」のお知らせ
- 11年度西多摩医師会第1回定時総会開催について
- 日本医科大学産業医研修会
- 11年度都医会産業医基礎・生涯研修会の開催について
- 荏原、品川医師会産業医研修会の開催について
- 国保振込銀行変更について



各部だより


学術部
Information

〈学術講演会聴講メモ (1)〉

平成11年4月21日(水)

演題：痛風・高尿酸血症の治療

講師：東京慈恵会医科大学内科学講座第2 教授 細谷 龍 男 先生

- (1) 生活習慣病としての痛風・高尿酸血症の治療
 - プリン体の摂取制限。
 - アルコールの制限。
 - カロリー制限。
 - 内臓脂肪型肥満に高尿酸血症が多い。
 - 高尿酸血症は動脈硬化性疾患の危険因子。
- (2) 痛風関節炎発症時の尿酸低下薬使用の留意点
 - 発作に対してコルヒチンは必ずしも第一選択薬ではなく、NSAIDS でも良い。
 - 痛風発作の前兆期にコルヒチン又は NSAIDS で治療を行なえば、発作を防止することができる。
 - 痛風発作を起こしている時に血清尿酸値を変動させる薬剤を使用することは好ましくない。
 - 痛風発作が寛解したら NSAIDS 及びコルヒチンはすみやかに中止する。
 - 血清尿酸値は急激に低下させず、薬剤は少量から使用し、3～6ヶ月かけて徐々に低下させる。
 - 尿酸のコントロールは生涯に渡って行なわなければならない。
- (3) 尿酸排泄促進薬と尿酸生成抑制薬の選択
 - 軽症腎機能障害例 (Ccr 80～50 ml/min) では両者の差はなし。
 - 中等度腎機能障害例 (Ccr 50～30 ml/min) では尿酸生成抑制薬使用例の方が腎機能改善大。
 - 尿酸生成抑制薬が選択される症例
 - ① 中等度以上の腎機能障害例。
 - ② 尿路結石保有例、尿路結石既往例。
 - ③ 明らかな尿酸生成過剰症例。
 - ④ 痛風結節有り、体内尿酸プールの多い症例。
 - 腎不全ではアロプリノールの副作用多い。
アロプリノール使用量

Ccr >50 ml/min	100~300 mg/日	血液透析例	100 mg/日
50 ≥ Ccr >30 ml/min	100 mg/日	腹膜透析例	50 mg/日
Ccr ≤30 ml/min	50 mg/日		

(4) 腎機能低下時の尿酸降下剤の使用法

- 尿酸生成抑制薬（アロプリノール100 mg）と尿酸排泄促進薬（ベンズプロマロン25~50 mg）との少量併用が良い。

(5) 無症候性高尿酸血症に対する薬物療法の適応

●治療基準

血清尿酸値 7.0~7.9：要観察

8以上：種々の合併症を有する症例、痛風の家族歴を持つ症例は要治療。

9以上：要治療。

（文責：野本）

〈学術講演会聴講メモ (2)〉

平成11年4月27日(火)

演題：排尿障害の診断と治療

講師：東京女子医科大学腎センター泌尿器科 教授 東 間 紘 先生

人口の高齢化とともに、前立腺疾患が増加し、外科的療法で現在では白内障の次に前立腺疾患となっている。しかし1989年に比べると、1995年には約3分1に減少している。これは、前立腺肥大の治療が外科的療法から、内科的治療に変わったからである。前立腺は以前の分類と異なりセントラルゾーン、トランジショナルゾーン及びペリフェラルゾーンに分類される。以前は癌はペリフェラルゾーンより発生すると言われていたが、現在ではセントラルゾーン10%、トランジショナルゾーン20%、ペリフェラルゾーン70%と言われている。前立腺の排尿障害が関係するのは、トランジショナルゾーンの肥大で同部分の間質組織の肥大によるものである。 α_1 レセプターが同部分に多数分布し同部の α_1 レセプターを遮断する事により、排尿障害を改善する。高血圧治療薬の α_1 ブロッカー薬を服用している老人が排尿障害も改善した事より、前立腺の α_1 レセプターが多いのではないかとこの推測がなされ、現在はその治療に生かされている。

前立腺肥大症の診断には、問診によるスコアリング、直腸診、検尿、エコー、PSAの測定、尿路造影などである。エコーで残尿の計算が出来、前立腺の体積と閉塞症状は一致しない。

他病死の男性の4~38%に前立腺のオカルトがんが見られる。1990~2015年には全癌のうち、前立腺癌が1番多くなると言われている。前立腺癌の早期発見の為に、PSAの測定、トランスレクタールUS及び生検がある。

PSAに関しては、日本人が初めて（1971年久留米大学の原教授）精液内に γ -Semino Proteinとして発表、1979年米国のWangがPSAとして再報告したものである。前立腺上皮細胞が破壊（炎症や癌）されると精液中に分泌されるPSAが血液中でも高値になる。このPSAが前立腺腫瘍マーカーとして現在認識されている。（渡辺）

広報部

青梅市立総合病院 外来診察分担表

平成11年5月1日現在

診療科	月	火	水	木	金	備 考
総合担当	桜井(徹)	幸野・室賀 (30番まで)	青木・伊藤	廣 野	福 岡	専門別担当医
新患担当	富川・金沢	今 井	太 玉 今 井(前)	大 友 今 井(前)	室 賀 小 山(前)	循環器病 藤・銀・訓・枝 消化器病 宮川・細井・本田 血液病 今井・小山 リウマチ 桜井(徹) 膠原病 栗山・室賀・伊藤 腎臓病 原 甲状腺病 原 糖尿病 原 神経内科 松本
血液内科			丸 野		原	
内分泌代謝科	原	原				
腎センター	栗 山	(室 賀)	(伊 藤)	栗 山		
呼吸器科	大 玉	高 野		大 玉	高 野	
消化器科	宮 川 (20番まで)	細 井	本 田 (30番まで)	宮 川	本 田 細 (30番まで)	
循環器科	坂 本	芦川・大友	金 沢	坂 本 金 (35番まで)	芦 川	
外科	正 木	山 田	藤 田	森 田	山 田	
胸部外科	佐 野	畑 尾	日 下 生	正 木	佐 野	
脳神経外科	森	宮 崎	大 林	鬼 頭	宮 崎	
整形外科	日 野 日 野 原 野 堀 吉	堀 吉 田 岡	吉 野 日 野 原 野 堀 吉	堀 吉 田 岡	日 野 原 野	
産婦人科	妊婦	高 野	古 賀	小 倉 陶 守	石 川	平成10年2月2日から、外来医師予約導入
	婦人科	陶 小依	陶 小依	高 陶 石 守	高 野 陶 古	
皮膚科	馬 場	馬 場	馬 場	馬 場	田 嶋	
泌尿器科	友 石	小 山	岡 本	友 石	非常勤医師	
小児科	加 藤 加 藤	加 藤 加 藤	加 藤 加 藤	加 藤 加 藤	加 藤 加 藤	
薬科	瀬口・福井	瀬口・福井	非常勤医師	福 井	瀬口・非常勤医師	
耳鼻咽喉科	根 岸	根 岸 角	根 岸 角	根 岸 角	根 岸 角	
神経科	新患	石 平	渡 辺	渡 辺	石 原	午後予約 石 原・渡辺 石 原・黒辺 石 渡 石 石 渡 石
	再 診	石 原	石 原 午後・渡辺	石 黒	午後・渡辺	
	来 院					
放射線科	午前	佐藤(IVR)	福田(診)	佐 藤	田 中	石田(RI)
	午後			福 田(泰)	佐 藤	田 中
リハビリテーション科	中島(調のみ)	中 島	中 島	中 島	中島(調のみ)	
口腔外科	吉 田	佐 野	体 診	高 久	今 井	

※ 内科の は予約

地区だより

日の出・五日市地区

五日市医師会（山水会）春の旅行始末記

4月10日・11日と一泊二日で伊豆修善寺へ親睦旅行を致しました。メンバーの日頃の心掛けが良いせいか、出発日より強い春雨に恵まれました。午後2時にバスで紀伊国屋前を出発すると同時に、長老川崎先生の号令のもとに宴会が始まり、睡眠中以外は翌日の午後5時まで飲み続けの肝機能に根性の入った旅行でありました。

以下は参加メンバーの感想であります。

それはそれは楽しい2日間だった。宿は修善寺温泉屈指の「ホテル桂川」、バスはデラックスサロンバス、その上美人コンパニオン2名が同行。幹事は清水佐和道、進藤晃と若手代表の両先生である。気配り満点の名幹事のお陰で、出発してから帰り着くまで、笑いが絶えることなく参加者全員が心の扉を開き、理解を深め、親愛の度を更に増したことは、

今回の旅行の最大の収穫だったと思う。

私は、五日市町と日の出町在住の先生方の親睦会である、この五日市医会（もう28年間も続いている）の一員であることをつくづく幸せなことだと思っている。

日の出診療所 川崎健一郎

久しぶりにとっても楽しい旅でした。2日間飲みっぱなし、歌いっぱなし、笑いっぱなし、大いに親睦が深まりました。それもこれも幹事役の清水、進藤両先生の奮闘のお陰です。お疲れ様です。感謝。

栗原内科整形外科医院 栗原琢磨

4月10日（土）午後2時、五日市医会一行11人の旅行の始まりです。大型観光バスに乗るや否やまだ外は真っ昼間なのにビール、ワイン、焼酎などなどにカラオケ、雑談、バス



の中は笑いの天国でした。ホテルに着いた頃にはかなり出来上がっていたはずなのですが……夕食にはこれも又、先生方のエネルギッシュな“隠し芸”で大喝采!! 本当に心の底から楽しい2日間でした。ありがとうございました。
野口眼科医院 野口清美

4月10日(土) 「伊豆地方、大雨注意報」との天気予報をしりめに、修善寺へ。霧雨の露天風呂もまた趣がありました。

4月11日(日) 西側から見た富士山は、山頂に雪をいただき、まさに悠々絶景。車中の酒と会話も佳境を呈し、楽しい五日市医会の旅行でした。 湯川医院 湯川文朗

酒々の二日間。以前の旅行が、いつ行ったのか思い出せない位、日が経っている。久しぶりのリラックスタイムで楽しかった。

明田川産科婦人科 明田川修生

あいにくの雨でしたが、景色よりも何よりも、川崎先生と杉本先生のパワーに感服いたしました。二日酔いの僕を尻目に、二日目は朝食前よりビールを飲まれておりました。(ひれ伏して) 恐れ入りました!

日の出ヶ丘病院 蓼沼 翼

平成10年末の五日市医会で、春の親睦旅行が盛り上がり、今回企画を担当させていただきました。バスの中、旅館での一次会、二次会、三次会、気がつけば丑三つ時、楽しくよく飲んだものと就寝し、朝お風呂上がりに出会ったその時、皆さんの片手には缶ビール、昨日は飲まなかったのかと思うほどの飲みっぷりに驚いてしまいました。でもそれほど楽しい旅行を企画できて良かったです。

大久野病院 進藤 晃

昨日の痛飲がたたり、起床時より不調。いつものことですが、今日は酒を止めようと思いつつ、朝食の用意されている広間に行くと、なんと、そこでは川崎先生、杉本先生、そして栗原先生がビールを楽しまれているではありませんか。私、ただただ、カルチャーショックでありました。進藤先生曰く、我々とは受容器が違うのでしょうかね。私も同感でありました。ただし、その一方では蓼沼先生が思考力ゼロのゾンビのような顔色で、お膳の前に呆然と座られていた事も事実です。

老いて、ますます盛んの老年パワーを朝から体験できる貴重な旅行でありました。それにしても恐るべし、我が山水会のバイアグラ軍団!?

清水耳鼻咽喉科クリニック 清水佐和道

文芸随筆諸事百般

「麥秋」

鹿野 純一

高熱がさがらぬ孫をもてあまし

電話で声聞くゴールデンウイーク

久しぶり連れて来られた孫人見知り

下向いたままの博多人形

黄色のチューリップが咲き並ぶ

隣の畑の主人は病みぬ

同年の隣人の通夜しめやかに

酒屋で明るい顔を見せしも

古稀という言葉のおもみ計画を

楽しむだけのゴールデンウイーク

引退の麥秋となり永年の

明暗に耐えし医師の看板

あやしげな船は砲撃で突走る

もの足りない日本の対応

お知らせ

事務局より お知らせ

平成11年7月（6月診療分）の

保険請求書類提出日

7月8日（木）

— 正午迄です。 —

法律相談

西多摩医師会顧問弁護士 鈴木禧八先生による法律相談を
毎月第2水曜日午後2時より実施しておりますのでお気軽に
ご相談下さい。

- ◎ 相談日 **6月は9日（水）**
7月は14日（水）の予定です。
 - ◎ 場所 西多摩医師会館和室
 - ◎ 内容 医療、土地、金銭貸借、親族、相続問題等民事、
刑事に関するどのようなものでも結構です。
 - ◎ 相談料 無料（但し相談を超える場合は別途）
 - ◎ 申込方法 事前に医師会事務局迄お申込み願います。
- （注）先生の都合で相談日を変更することもあります。

訃報

田中満貴様

青梅市西分町2-56
田中医院 院長
田中穂積 先生

（ご母堂様）

去る5月10日逝去されました。
謹んでお悔み申し上げます。

訃報

陶守誠様（76才）

青梅市東青梅4-16-5
青梅市立総合病院
陶守敬二郎 先生

（ご尊父様）

去る5月15日逝去されました。
謹んでお悔み申し上げます。

伝言板

(1) 絵画部 「杏展」開催のお知らせ

会期：6月20日(日)～6月27日(日)
11時～18時
会場：福生プチギャラリー

(2) 写真部 写真展 開催のお知らせ

会期：6月21日(月)～6月28日(月)
11時～18時(初日15時より)
会場：羽村市コミュニティーセンター
2階ロビー

表紙のことば

会報創刊当時、恥ずかしながら私のスケッチが表紙を穢していた。そのうち白黒写真からカラーになり、写真部員の作品も度々会報を飾るようになった。それでもポートレートは初めてと思う。乞われて、大急ぎ撮影した。

松原貞一

西多摩医師会写真部は、毎年春秋に作品展を開催しています。今回は、
場所：羽村コミセン(羽村市役所隣)
日時：6月21日(月)～28日(月)
入場料 もちろん 無料
会員各位多数のご来場をお待ちしております。

『写真部員 大募集』

同好の方は、是非ご連絡ください。

連絡先

青梅 0428(21)0019 細谷
福生 042(553)3875 田村

あとがき

先日、現在の学術講演会についての学術部からのアンケートがあり、いろいろなご返事がありました。理事会の姿勢が悪いから参加者が少ないのだというのもありました。情報は他から入るから不必要というのもありました。場所が悪い、時間が悪い、演題が偏っている、懇親会がないのが良くないなどもありました。しかし、あえて本音を言わせてもらえば、そもそも勉強はもうしたくないというところではないでしょうか。実際そういう率直な意見もありました。私たちの考えなければいけない点は、どうして医の理想と現実とに眼をそむけてそうした気持ちがあるのか、今の西多摩で許されるのかということではないでしょうか。

(K)

社団法人 西多摩医師会

平成11年6月1日発行

会長 宮川栄次 〒198-0044 東京都青梅市西分3-103 TEL 0428(23)2171・FAX 0428(24)1615

会報編集委員会 神尾重則

石井好明 片平潤一 清水佐和道 高水松夫
田村啓彦 樋口昭夫 横田卓史

印刷所 マスダ印刷 TEL 0428(22)3047・FAX 0428(22)9993

健康の輝きをひろげる。



BML

株式会社 **ビー・エム・エル**

本社・〒166 東京都杉並区高円寺南1-34-5 TEL.03-316-0111(大代表)
総合研究所・〒350 埼玉県川越市朝日1361-1 TEL.0492-32-0111(代)

最新のテクノロジーが計測します
そして、人の眼と心が記録します



臨床検査のパイオニア

保健科学研究所

本社 〒240 横浜市保土ヶ谷区神戸町106 TEL/045-333-1661(大代表)

仙台支社 〒983 仙台市宮城野区扇町1-3-5 TEL/022-236-9345(大代表)